

-日商簿記3級検定試験-

第1問(仕訳)項目別対策

#8

～今回の対策項目～

- ・ **有形固定資産**
(購入・売却・買換・修繕・改良)
- ・ **差入保証金**



解説動画URL



第1問(仕訳)項目別対策

<日商簿記3級検定試験について>

- ・試験時間 : 60分
- ・合格点 : 70点以上

	第1問【仕訳問題】	第2問【その他】	第3問【決算関連】
主な出題内容	現金預金 商品売買 貸付金・借入金(利息の計算) 貸倒れの処理 費用の支払い 消費税・法人税 仮払金・仮受金 固定資産(購入・売却等) 剰余金の処分・配当 決算整理・決算振替 伝票の推定 証ひょうの読取り	勘定記入(T字勘定) 補助簿の選択 理論問題(語句穴埋め) 伝票(伝票の記入) 伝票(仕訳日計表) 商品有高帳 固定資産台帳	精算表の作成 損益計算書・貸借対照表の作成 決算整理後残高試算表の作成
配点	45点(3点×15問)	20点	35点
おすすめの解答手順	①(15分)	③(15分)	②(25分)
ポイント	ここで確実に高得点を! 目標は13問(39点)以上	初見で「難しい!!」と思わず冷静に! 確実に取れるところから部分点を!	時間を意識しつつ高得点を! 貸借の合計が一致しなかった時は 「必殺後回し!!」で次に進むこと!

第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題1》

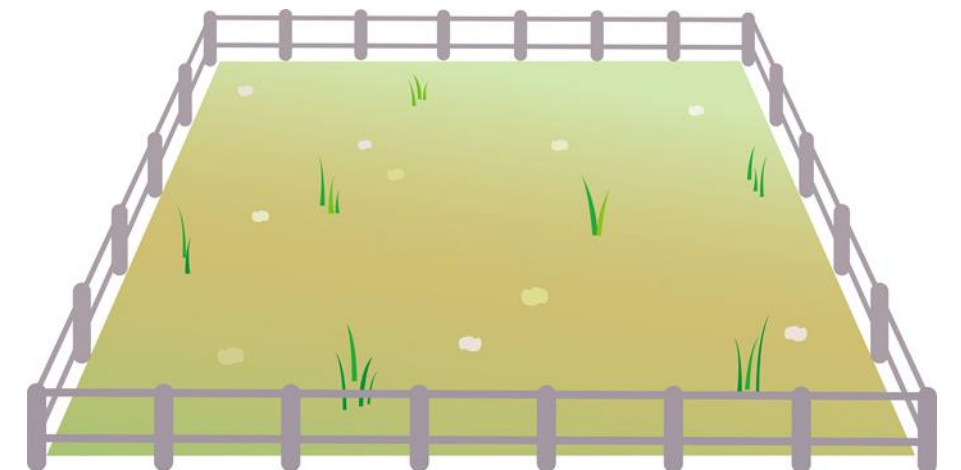
新店舗建設用の土地 500m^2 を 1m^2 あたり $5,000$ 円で購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、この土地の購入にかかる仲介手数料 $50,000$ 円、登記料 $30,000$ 円および整地費用 $100,000$ 円は後日支払うこととした。

○用語○

購入代価…購入する資産そのものの本体価格

付随費用…資産購入に際し、関連して発生する費用(仲介手数料等)

取得原価…取得する資産の実際の購入金額【購入代価+付随費用】



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題2》

以前に購入した土地(購入代価2,500,000円、仲介手数料50,000円、登記料30,000円、整地費用100,000円)を3,000,000円で売却し、代金は後日受け取ることにした。

●Point(付随費用について)●

有形固定資産を購入したときの付随費用は、購入代価に含めて処理する。



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題3》

×5年4月1日に不要となった備品(購入日:×1年4月1日、取得原価:300,000円、残存価額:ゼロ、耐用年数5年、償却方法:定額法、記帳方法:間接法)を50,000円で売却し、代金は後日受け取ることにした。なお、当社の決算日は3月31日である。

●Point(減価償却の計算について)●

- ①.問題文から会計期間を読み取り、タイムテーブルを書く
- ②.取得日から期首までの使用年数をもとに「減価償却累計額」を計算する
- ③.期首から売却日までの使用月数をもとに「減価償却費」を計算する



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題4》

×4年12月31日に不要となった備品(購入日:×1年4月1日、取得原価:600,000円、残存価額:ゼロ、耐用年数6年、償却方法:定額法、記帳方法:間接法)を230,000円で売却し、代金は後日受取ることにした。なお、当社の決算日は3月31日である。

●Point(減価償却の計算について)●

- ①.問題文から会計期間を読み取り、タイムテーブルを書く
- ②.取得日から期首までの使用年数をもとに「減価償却累計額」を計算する
- ③.期首から売却日までの使用月数をもとに「減価償却費」を計算する



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

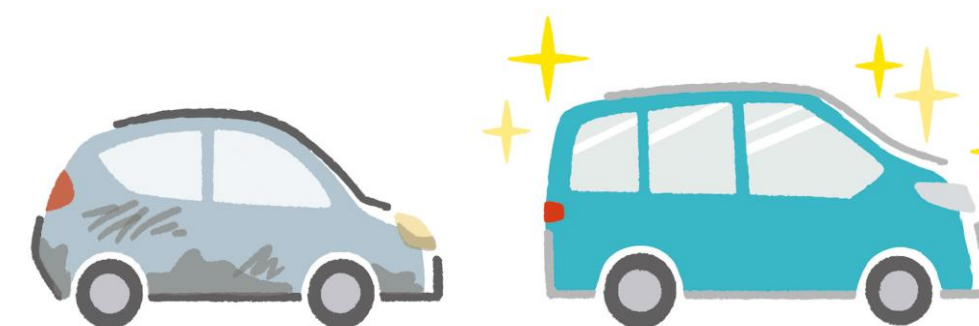
《問題5》

これまで使用してきた営業用車両(取得原価800,000円、減価償却累計額480,000円、当期減価償却費40,000円、間接法で記帳)を下取りに出し、新たに車両1,000,000円を購入した。なお、下取り価額は300,000円であり、新車両の購入価額と旧車両の購入価額との差額は翌月末に支払うことにした。

●Point(車両の買替えの仕訳について)●

「①.旧車両の売却(下取り)の仕訳」と「②.新車両の購入の仕訳」を分けて考え、最終的に①と②の仕訳を相殺するとスムーズに解答できる。

なお、旧車両の下取り価額はそのまま新車両の購入に充てられるため、①の仕訳を行う際は一旦「未収入金」勘定で処理しておく。

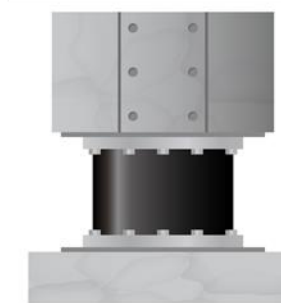


第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題6》

建物の改良と修繕を行い、工事代金3,000,000円は小切手を振り出して支払った。なお、代金のうち2,000,000円は改良(資本的支出)、残額は現状維持のための定期的な修繕(収益的支出)である。



●Point●

- ・資本的支出(資産価値を増加)・・・元の状態より資産価値を増加させる支出(増改築など)
※複数年度に渡る支出であるため、「資産」として処理する。そして、資産の使用可能年数に応じて「減価償却」を行い、費用として年々価値を減少させていく。
- ・収益的支出(費用として処理)・・・元の状態に戻す支出(備品の修理、建物の一部破損の修理など)
※固定資産の機能を維持するための支出として当期の「費用」として処理する(勘定科目は「修繕費」)。



第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題7》

新規事務所を1ヶ月あたり40,000円で賃貸借契約を行い、初月賃料40,000円、敷金は賃料4ヶ月分、仲介手数料20,000円を当社の普通預金口座から振り込んだ。

●Point(仲介手数料について)●

有形固定資産を購入するときは、付随費用として購入代価に含めて処理するが、不動産を賃貸するときは、費用として処理する(勘定科目は「支払手数料」)。

○用語○

賃貸借契約…不動産等の貸し借りをする際に、貸主と借主で締結する契約
敷金…借主が大家さんに預けておく保証金(勘定科目は「差入保証金(資産)」)
差し入れる…(不動産等の契約において)保証金を支払う行為

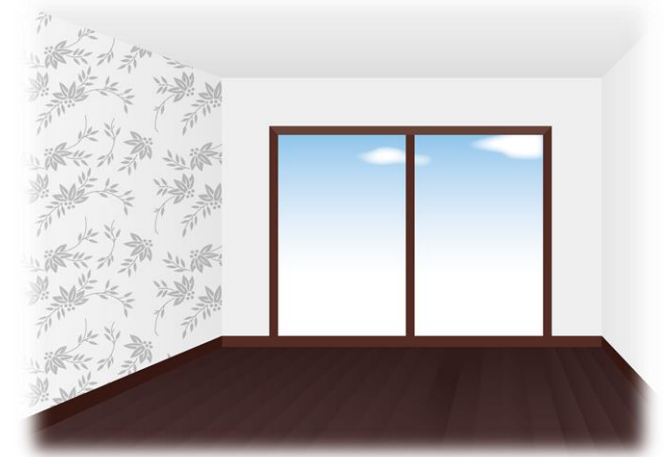


第1問(仕訳)項目別対策

※本試験では、各設問ごとに勘定科目が与えられるので該当する「記号」で解答します

《問題8》

事務所の退去に伴い、賃貸借契約を解約し、契約時の敷金160,000円については、修繕費40,000円が差し引かれ、残額は普通預金口座に振り込まれた。



●Point●

敷金は、賃料を滞納した場合や退去時の修繕等に利用される場合があるが、基本的には「担保として預ける保証金」であるため、全額返還されるものである。

